



2019年 夏号 (第75号)

発行元 有限会社ライフサーブ
〒290-0056 市原市五井5505番地
TEL 0436-21-4334
FAX 0436-21-6627
E-mail life-s@soltecsougo.co.jp

元号が令和に改まって、はや2カ月が過ぎました。皆様におかれましては、どのように新しい御代をお迎えになられたでしょうか。平和で自然災害の少ない御代であってほしいと思います。

さて弊社は、この程、元の市原市五井の地に、新事務所がまもなく完成し、8月1日に移転する運びとなりました。長い間、仮事務所でご不便をお掛けしましたことを、お詫び致しますと共に、今後も引き続き御贖員の程、宜しく願い申し上げます。

令和元年7月



アブラゼミ 中洲慧氏画



◇ 生活情報 ◇

～人生100年時代を上手に生きましょう！(その3)～

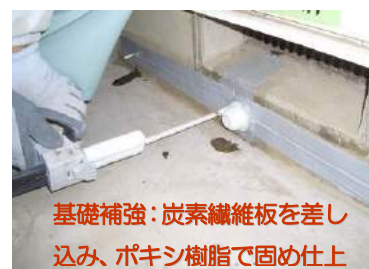
弊誌71号にて、“人生の節目毎のリフォーム”を紹介させて頂きました。そこで今号では、老後を安心して元気で愉しく過ごせるためのリフォームを紹介させて頂きます。

- (1) **自然災害対策：** 政府の地震調査委員会が昨年、今後30年以内に震度6弱以上の地震の発生確率などを推計した「全国地震動予測地図」の最新版を公表しました。これによると、なんと千葉市が全国で最も確率が高く、85%でした。地震以外でも、最近の異常気象による風水害が各地で頻繁に発生しています。そこで、安心して住み続けられる住まいにするために、耐震対策や外壁・屋根の補修を是非検討しましょう。



市原市では、耐震診断の結果、補強を必要とする木造住宅の耐震性能向上を図る工事に対し、その費用の一部を補助しています。

また、当社は市原市木造住宅耐震改修事業の施工業者として登録しております。耐震についてのご相談がございましたら、どうぞご連絡ください。



(2) **家内安全**：バリアフリー／ヒートショック対策で、安全・健康面でも安心の我が家に致しましょう。室内での移動の際の段差の解消や手すりの設置、更に車椅子で利用できるトイレ等、何なりとご相談下さい。また、自宅内で温度差が生じやすく、ヒートショックの心配がある洗面所、浴室、トイレ等の場所にも最適な設備を提案させていただきます。



車椅子向きの床と引き戸



階段の手すり



洗面所の壁掛け暖房機

(3) **ペットも家族の一員**：犬・猫・小鳥等の室内で飼える小動物との生活は心癒される毎日となります。ペット臭や有害物質の軽減、滑りにくい床等、ペットと人が共に快適に過ごせる空間を考慮しましょう。



壁に消臭効果のある
エコカラット使用



くぐり戸

◇ 最近の実績紹介 ◇

実績その1 ～ 玄関ドアの交換～



ドアを
開けたまま
換気

網戸で虫の
侵入を防止

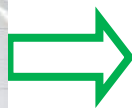
古くなった玄関ドアの交換を行いました。既存の枠の上に新しい枠を取り付けるカバー工法により、1日で完成しました。工事期間中の戸締まりの心配もなく出来上がります。

選んだドアはドアを閉めたまま風を取り込める採風タイプで、防犯性に配慮し、網戸も付いているので虫が入る心配もありません。親子ドアにしたので大きな荷物出し入れもしやすくなりました。

また鍵に関してはタッチキーを採用し、車のキーのようにボタンを押すだけで施錠でき、従来より便利になりました。このタッチキーは電池式の為、複雑な電気工事は必要ありません。



工事前



工事後

実績その2 ～台所工事～



台所のシステムキッチンに入れ替え工事を行いました。吊戸棚などの手が届きにくい高い位置にある収納スペースを有効に活用したい、電子レンジ等の家電製品やごみ箱を置くスペースを確保したいというご希望がございました。

事前にお客様とシステムキッチンのメーカーのショールームに見学に行きました。実際に商品に触れ、今までの悩みを解決してくれそうな商品を選定しました。特にレンジフードはショールームの実演で気に入ったとおっしゃるフィルターとファンの油汚れを自動洗浄してくれるレンジフードを採用しました。

これまでより収納スペースが充実し、上品な質感の艶消し扉の色が落ち着いた雰囲気の中になりました。



実績その3 ～屏風の製作～



古い蔵で保管されていた齊藤巻石（九十九里を代表する網主で南画山水を多数手がけた文人画家）による屏風を作り直しました。骨組みから作り直し、しみ抜きも行い、見違えるようにきれいに仕上がりました。

作業中に古い屏風の作品を剥がしたら、下張りの紙になんとも言えないゆるキャラ(?)が出現しました。明治時代のお子さんが書いたのでしょうか。下張りに使う和紙は使い古しの手紙や大福帳などを使用するので剥がしてみると面白い発見があります。



趣味 と おしゃべり のページ



本紙でお馴染みの俳優の勝村政信さんから新事務所完成祝いとして、久しぶりにご寄稿文を頂きましたのでご紹介致します。尚、今号では趣味のご紹介はお休みさせていただきます。

「私の人生行路」

勝村 政信

らいふ通信の読者の皆様、ご無沙汰致しました。そして、ライフサーブさん、この度は新事務所完成おめでとうございます。

新しいって、気持ちのいいものです。うちの娘も大学を卒業して、4月に就職。新・社会人になりました。感慨深いものがあります。

僕が高校を卒業したのは、もう37年も前になります。サッカーばかりやって

いて、なんとなく叔父が働いていたスポーツ用品の問屋に就職しました。全国のスポーツ店から注文をいただき、商品を倉庫から出して発送する。それが仕事でした。毎日毎日の。僕の席から7メートルくらい先に部長の机がありました。毎日同じことをしながら、あの7メートルくらい先の机にたどり着くまで、新入社員の僕が部長になるまで、30年はかかる。そう考えたら絶望的な気持ちになりました。このままでいいのか？いけないのか？それが問題だ。まるでハムレットです。新しい未来を求めて、後先も考えずに会社を辞めました。すぐに高校のサッカー部の仲間が入っているチームに入れてもらい、そのサッカー部のある会社に入ろうと思いました。もっともっとサッカーがやりたかった。それが新しい未来への旅立の答えだったのでしょうか。だがその会社は、精密機械の部品を作る工場でした。新しい未来を求めて旅立った若者は迷った。サッカーは続けたい。しかし、一生精密機械の部品を作る工場の内勤。このままでいいのか？いけないのか？それが問題だ。またハムレットです。だが迷ったのは一瞬。無理！すぐに結論は出た。浅い悩みのハムレット君。新しい未来を求めた新しい旅がまた始まった。そしてなぜか、20年生きた人生で、まったくかわりのない、興味もなかった、演劇の世界に飛び込んでしまった。思いもよらぬ新世界へ。しかも師事したのは世界の二ナガワと呼ばれていた、演出家の蜷川幸雄さん。蜷川さんの存在を知りもしなかったのに。それから34年。未だに役者を続けている。本当ならスポーツ用品の問屋の部長になっている頃である。新しい未来を求めた若者は初老になり、毎日新しいことに挑戦している。役者とは本当に不思議な職業である。向いているのかいないのか？未だにわからない。だが、役者として年を取って行くことが楽しい。若い頃は年をとることなど気にもしていなかった。怪我や病気の話を撮影の合間にするとは思ってもいなかった。「どうなの？血圧は？」「尿酸値は？」「歯のすき間に物がはさまる」「顔のほとんどがおでこだよ」「字が小さすぎて読めない！」どこかで聞いた台詞のようだ。僕と同年代の役者は、ドラマの撮影の合間にこんなことばかり話している。このままでいいのか？いけないのか？それが問題だ。老いてもハムレットは降臨する。だが、現実はそのようなものである。大した問題ではない。考えてみれば、若い頃に先輩たちも同じような話をしていた。いよいよ来たのだ。順番が。でも、それが楽しいのだ。老いていく様が。今は様々な情報が溢れている。病気になるのは当たり前。その病気とどう向き合っていくのかが、これからの新しい課題である。戦い方はいくらでもある。

樹木希林さんの病気との戦い方は見事だった。50過ぎたらびんびんコロリが目標だな。なんて考えていたら、メディアアーティストの落合陽一さんが日本進化論でこんなことが書いていました。人生100年を幸福に過ごすために、運動習慣が必要だと。それは「ストレスの解消」「コミュニティの形成」「予防医学的効果」が期待できると。確かに。でも、100年を幸福に過ごすためのものですよ。どうしましょう？笑。ようやく半分ちょっと生きたことになる。56才を目前にまた新しい旅が始まったようです。新しいって、気持ちのいいものです。



「はさみ（鋏）」はどこ家庭でも古くから用意している道具の一つであるから、その解説など今更であろう。と思いつつ、またもネットでその定義と歴史を調べたので、やはり一応記しておくことにした。先ず「はさみ（鋏）」とは、物を刃で挟み込むことによって、物を切断するための道具（例えば、“裁ち鋏”や“剪定鋏”等）と、物をはさみ込むことによって、物を握持するための道具（例えば、“洗濯鋏”や“ゴミ鋏”等）がある。ここでは、前者を取り上げてみる。



物を切断するための鋏は握り鋏（和鋏）と洋鋏に大別される。それらは支点の位置が異なり、握り鋏は元支点型＝U字型で腰（中間部）がバネになっている。また、洋鋏は中間支点型＝X字型で2枚の刃を柄と刃の中間でネジにより組み合わせている。

そして、その歴史だが、鋏の最古の遺物としては、紀元前 1000 年ごろギリシャでつくられた鉄製のものがある。元支点型の握り鋏と同型のもので、主として羊毛刈り用であったようだ。日本へはギリシャ→インド→中国を経由して 6 世紀に伝わったという。

一方、洋鋏は古代ローマ以降に登場したと云う。日本には 15 世紀以後、ヨーロッパから伝わったらしい。しかし、裁断などの用途には小刀が用いられていたため、はさみの普及は職人や華道など限定的なものだったようだ。明治維新で洋服の一般化とともに、廃刀令で困った刀鍛冶がその技術を生かして海外から導入されたハサミを手本として日本人向けに改良し、それが広まって現在に至ったと云う。尚、握り鋏はヨーロッパでは 18 世紀を最後として姿を消し、日本でも現在は洋鋏が主流になっている。しかし、日本だけは握り鋏を現在もなお糸切り鋏や鉛細工用として使い、和鋏という名称が定着している。なのに、その和鋏は前述のように日本生まれではないのである。

さて確かに、我が家でも現在は洋鋏（裁ち鋏）しかない。和鋏は無いし、長いこと見たこともない。しかし逆に、幼少の頃の実家では和鋏の記憶しかない。ただでも不器用な私は、その和鋏が小さく、また古いので甚だ切れ味が悪く、裁断に苦勞したことを覚えている。その頃、「馬鹿と鋏は使いよう」と大人が言っていたことも記憶にある。私はこの意味を長い間、馬鹿が鋏を巧く使えないことだと思い、私のことかと傷付いていたものだった。しかし、どうやら、切れにくくなったハサミでも捨てる必要はなく、力の入れようを工夫したり、或は研ぎ直したりして使えば十分、切れるようになる。そこからさほど能力のない人材でも、工夫して使うことによってその人が持っている能力を十分発揮できるという意味を表している。と云うのが正しい解釈のようだ。馬鹿という言葉が用いられているが、使われている人間を馬鹿にした言葉ではなく、むしろ使う側の人間の責任を指摘した表現だとも云う。ただ、差別語のようであり、今や禁句なのではなかろうか。



それでは、現在の私の場合を考えると、裁ち鋏で布を切ることは殆どなく、紙はペーパーナイフを使う。一番多いのは封筒の封切りで、後は包装用の紐類を切るとき位であろうか。一方、園芸用は大分使う。植木鋏、刈込鋏である。また、自分以外の人に使ってもらってお世話になるのは、何と言っても理容用であろう。理容鋏、スキ鋏である。

材質としては、自分で買い求める園芸用は専らステンレス製にしている。素人は手入れが面倒なので、さびないのが何よりである。形状的には、昔から殆ど変わっていないが、用途に応じて種類が豊富になっているようだ。そんな訳で、馬鹿な私でも十分使えるようになっているのは確かである。

アイ ナイン もり ボンジュク
 ~Cafe i 9 Mori Bonjuk~

住所：市原市国分寺台中央 2-15-6 2FL

TEL：080-4816-8211

営業時間：11：00～21：00 （定休日 日曜日）

国分寺通りを武道館方面に進んで、右側 和食なつ味の手前に白い建物。 反対側 信号の角に駐車場が4 台分あり、お店は2 階にあるので、右脇から外階段で上がります。 清潔感ある、落ち着いた自作のインテリアがやさしく出迎えてくれました。 本格的な韓国のお粥が自慢のお店です。

野菜たっぷりのトッペキ（野菜スープ）¥900（写真右下）、
 エビビビンバ ¥850、お出しが効いて美味しい海鮮粥¥1100
 （写真左）は量が多いのでシェア



するとよいかも。いずれも、キムチ・漬物・食後のコーヒーが付き
 ます。どれも美味しく、お腹いっぱい幸せな時間がすごせました。
 次回はトッポギとチヂミ食べようと思いました。 （庄司記）



◇ ライフサーブからのお知らせ ◇

～弊社新事務所の紹介～

巻頭にて紹介致しましたように、弊社新事務所（左写真）がまもなく完成し、8/1に移転する運びになりました。ライフサーブはこの2階となりますが、新事務所に入るその他の内容について紹介致します。

* 1 階は株式会社東建地所が入居します。不動産関係の処理及び売却、買取、開発行為等を、今後ともライフサーブと協力体制で行います

- * 1 階のエントランスは株式会社相互の子会社のフレーム工房 JAM の作品の展示等を行い、内装・額・軸等の注文を2 階ライフサーブにて行います。
- * 1 階の裏側公園側に創作料理の店がオープンします。現在五井駅前で CONA という創作料理の店がありますが、店長さんが独立しこの場所でオープンする事に成りました。内容がわかり次第報告させていただきます。
- * 現在予定の駐車場はおよそ 25 台を予定、レストランを含めお客様に迷惑をかけぬよう、多めに用意しました。



工事途中

一級建築士事務所 1-1508-5369 号
 建設業登録(建築) (般-26)第 42105 号



有限会社ライフサーブ

千葉県市原市五井5505番地

TEL:0436-21-4334 FAX:0436-21-6627

E-mail:lif-s@soltecsougo.co.jp 定休日：日曜・祝祭日

